

都市のみどりとエコロジー

都市の環境を改善して
みどりとうるおいのある新宿にするために
どのような取り組みが必要でしょうか？

- ❖ 都市の環境負荷の増大
- ❖ ヒートアイランド化の進行
- ❖ 都市環境を改善しながら、持続的に発展
- ❖ 都市生活にうるおいを与える、みどりや水辺
- ❖ 環境負荷の軽減

本日のテーマ

都市の環境を改善して
みどりとうるおいのある新宿にするためには
どのような取り組みが必要でしょうか？

厳しい財政状況のもと、公園整備を進めていかなければなりません。都市の公園やみどり、水辺とふれあえる環境などを、どのような方法で増やしていったらよいでしょうか？

公園やみどりの維持・管理にも、大きなコストが必要です。これらを区民共有の財産として維持していくためには、どのような仕組みをつくればよいでしょうか？

「新宿区みどりの基本計画」

平成10年9月に、地域の貴重なみどりを守り、新しいみどりを育むために、新宿区の「みどり」についての総合的な計画である「新宿区みどりの基本計画」を策定しました。

計画の理念

みどりとうるおいのある環境都市「新宿」の
実現をめざします

計画の目標

- 策定後10年間を当面の計画期間
- 21世紀前半までを将来の目標期間に...

計画の目標

●緑被率の目標（策定時17.45%）

- 当面の目標 18.45%を達成
- 将来の目標 25%に
- ※ みどりの減少を抑え、可能なところにみどりを増やしなが
目標の達成を目指します

●公園の目標（策定時116.8ha区面積の6.4%）

- 当面の目標 新たに2ha確保
- 将来の目標 区全体面積の8%を確保
- ※当面の目標量は区立公園と都立公園、将来の目標量には、他に
運動場や一時開放地等の公園的空間を含めて考えます

計画の方針

計画の理念を実現するために・・・

●4つの方針

- みどりが減るのを抑えます
- みどりを可能なところに増やします
- みどりの質を高めます
- みどりを守り、育むしくみをつくります

計画の方針

計画の理念を実現するために・・・

●3つのみどりの配置方針

- 商業・業務地のみどり
- 住宅地のみどり
- 生き物を育むためのみどり（生態回廊）

【みどりが減るのを抑えます】



- 7 みどりの大切さを知らせます
- 8 保護樹木制度の見直しを行います
- 9 開発に対するミチゲーション(代替え方法)の制度
化を図ります
- 10 自然の残る場所の保全をすすめます
- 11 「わくわく湧き水計画」を推進します
- 12 ミニグリーンバンク事業を実施します
- 13 落葉、剪定枝のリサイクルを進めます。

【みどりを可能なところに増やします】



- 14 公共施設の緑化を推進します
- 15 公共遊休地の暫定利用を図ります
- 16 特色ある公園等の整備をすすめます
- 17 道路緑化マニュアルを作成します
- 18 緑化計画書制度の基準を見直します
- 19 地域の人々が主体でみどりをつくります
- 20 屋上・壁面等の緑化を普及・啓発します

【みどりの質を高めます】



- 1 ビオトープを推進する地区の形成を進めます
- 2 区民主体のビオトープづくり等を推進します
- 3 身近な広場の再生を皆で考えます
- 4 公園をいろいろに利用します
- 5 安心のみどりづくりの指針をつくります
- 6 水とみどりのネットワークの形成を推進します

【みどりを守り、育むしくみをつくります】



- 21 グリーン人材の活動を推進します
- 22 みどりの会議を結成し、連携を深めます
- 23 近隣区や都との連携を強化します
- 24 緑化意識を高めます
- 25 公園等で各種催しを開催します

「公園の整備と維持管理」

公園の整備・維持管理

新宿区では

- 1 みんなで考える身近な公園の整備
- 2 サポーター制度による公園管理
- 3 新宿中央公園活性プラン

など、企画・管理・利用の各段階で公園のあり方を区民の方と協働で考えています。

1 みんなで考える身近な公園の整備

公園を改修する際に、近隣にお住まいの区民の方と公園を設計する担当者が、お互いに対話しながら公園整備の方針を定めています。

以前のように、区が設計のたたき台を作ってから、区民のご意見をうかがうのではなく、当初から、地域の課題や要望を公園整備にどのように盛り込むか、主に区民の方々に考えていただきます。

2 サポーター制度による公園管理

日常の公園の維持管理（清掃・植栽の手入れ等）を近隣にお住まいの区民のボランティアで行っています。

地域ごとの特色や課題によって、公園の維持管理のどこに力点を置くか、各地域で異なります。また、この制度ではできるだけ多くの区民の方が公園の維持管理に参加できるよう、できる範囲（清掃・児童の見守り等）をご自身に決めていただきます。

3 新宿中央公園活性プラン

新宿中央公園では、平成16年度にこのプランで園内各エリアの特性をさらに明確にする整備を行いました。例えば、ちびっこ広場では広場周辺に低い柵を設置し、児童等に利用を限る専用時間帯を設けました。その結果、子どもがのびのびと遊べる空間づくりができました。

さらに、昨年度末から地域の子どもにかかわる団体と共催でイベントを実施し、公園のPRと、利用者増に努めています。

新宿区の公園整備の課題

- ❖ 財政上、公園用地の買収が困難であり、新たな公園が作れない
- ❖ 都心回帰現象で公園面積自体は増えているが、人口当りの面積は減少
- ❖ 狭小で形状の悪い(袋小路の奥・旗竿敷地等)公園が多い
- ❖ 公園の維持・運営に参画する区民が限られている

解決の方向性

- ❖ 再開発等、都市計画で永続性が担保される民有緑地を公園に位置付ける
- ❖ 立体都市公園制度を活用し屋上緑地、河川・鉄道・道路の上空を公園にする
- ❖ 社会変化に対応できる整備方針の策定する(再整備計画の見直し)
- ❖ 公園整備に向けた財政基盤を確立する